

2023 年度
(令和 5 年度)
学校関係者評価委員会報告書



学校法人トヨタ東京整備学園

専門
学校

トヨタ東京自動車大学校

Toyota Technical College Tokyo

学校関係者評価委員会報告書

1. 開催日 2024年（令和6年）7月24日（水）
2. 時間 13時30分～15時30分
3. 場所 専門学校トヨタ東京自動車大学校 1号館 123教室
4. 出席者 学校関係者評価委員：小島満、中原隆雄、林田英樹、小林祐、佐藤博之、愛甲彰人
事務局：永田透、若林良弘、太田靖也、石水渡、藤川龍彦、今野康裕、江頭裕司
欠席者 学校関係者評価委員：矢部寛明

学校関係者評価委員6名が参加し、過半数以上出席しているため委員会は成立

5. 概要

- 1) 開会挨拶：永田
- 2) 資料確認
 - ・自己評価報告書
 - ・学校関係者評価委員の評価書（A3）
- 3) 自己評価報告書の基準1～基準10までの説明
- 4) 各委員による評価結果
 - 【当校の自己点検評価結果に対する委員評価】
 - 出席委員から、すべての項目に対して良の判定をして頂いた。
- 5) 委員からの質問・意見（議事録より抜粋）

小島委員：【3-1-2】の確認ですが、スマモ科が学生フォーミュラから撤退とありますが、今年からですか？

昨年からです。学生フォーミュラ関係で非常に時間にかかり、時間外でもやっている状況でした。撤退してからは今まで出来なかった長期の自主研究を入れられるようになり、そこが大きく変わった点です。

小島委員：ハラスメントだけでなく、学生の年代からすると闇バイト・違法薬物・LGPTに対する教育、注意喚起は非常に大事ですがやっていますか？

コンプライアンス教育を今年4月からやっています。2年間で100時間かけてやる予定です。

佐藤委員：整備に対する相性があると思いますが、フォローして卒業できるように苦労されていらっしゃると思います。好きな学生もいればそうでない学生がいる中で、卒業して販売店につなげるのは大変なんだろうとは思いますが、学生の様子はどうですか？

担任が大変なのが保護者との電話連絡です。ここ1～2年特に多くなっています。内部進学についての相談も多く、保護者見学会以外にもアプローチがあり、そのコミュニケーションをとることが多いです。

また、夏休み明けから全館Wi-Fi化されます。それによるタブレット等の課題の与え方等も工夫できるようになり、タブレットを使って勉強してきた世代の学生に対するフォローにつながることを期待しています。

中原委員：販売店では、整備は好きでは無いとはっきり言う社員が普通にいる。逆にそういう社員は、整備を仕事と割り切ってやってるので、それはそれで良いのではないかと思う。割り切った人達は、扱いが楽ですが、逆に見切りが早いです。他に良い条件の仕事があれば退職してしまう所が難しいです。

愛甲委員：地域清掃、避難訓練等お手伝い頂いているので大変助かっています。女子や留学生が増えていると思いますが留学生などが入学してくれるのは良いことかと思えます。

林田委員：弊社には奨学金制度があるのですが、制度が悪いのか利用者があまりいません。

当校の日本学生支援機構の利用者は4割です。御社の場合は2年課程のみだと思えますが、その会社に就職しなければならないというハードルが高いため、専門学校に入学する前に入社試験をやることになり、ハードルは高いです。神奈川は4年課程にも対応して、トータル300万ほどの奨学金を出しています。

中原委員：提案ですが、エンジニアの魅力を保護者へ伝えるために、バス等を使って保護者と学生が販売店見学を実施してはどうでしょうか。他の専門学校からの依頼があり、整備の現場、処遇改善等を保護者に説明して伝える事を手伝っています。今の現場を保護者に見てもらおう事で、協力できればいいかなと思っています。

販売店見学会は実施しており、販売店に集まって工場等を見学していますが、スクールバス等といった形は無いです。都内の他校が行うのは、都内の設備を見せたくないからやっているというのもあるかと思えます。一度どれぐらい集まるかチャレンジも検討していきたいと思えます。

中原委員：2級の内容が来年の4月から変わりますが、3校連携で新しい内容を検討しているのでしょうか？

カリキュラムは去年から3校(東京校・名古屋校・神戸校)で協力して作成する方向で動いています。教科書が出るのが9月末なので、これから詳細を詰めていく段階です。

小林委員：留学生の件で、過去は学校を卒業して留学ビザが3~5年が当たり前でしたが、現在は1年ビザになっています。外国籍の人は稼ぎにきており、整備の仕事であれば長いビザが取れる等で目指している事もあり、この状況だと留学生が集まらなくなる可能性が出てきてしまう事が懸念される。入社するタイミングでビザの発行が、3~5年出るようになれば、販売店としては非常に助かります。整備主任者を取れば3年という話がありますが、現状ではそんなに多くの整備主任者を出すことは、コンプライアンス的にも難しい状況です。

JAMCAからも問題提議がされており、皆様に現状把握のご協力を頂くことになると思えます。その際は、よろしくお願ひします。

6. 総括

皆様から提案のあったDX化についても学生の理解度を向上させるアイテムとして導入が進んでおり、この夏以降全館でwi-fi化されます。日大の不祥事からの私学法改正、トヨタの3つの学校の統合等を来年度に控えております。学校も、販売店も、トヨタ自動車も自動車業界を支えられるよう動いていきたいと考えておりますので、何か気になることがありましたらご連絡下さい。

以上